

# 中国における彫塑教育の現状と高等学校での彫塑領域の授業実践 —マツスの構築テーマとして—

専攻 教科・領域教育学専攻

コース 芸術系

学籍番号 M10211f

名前 朝倫巴根

はじめに

## 研究の背景と研究の動機

抽象芸術の展開や現代美術の台頭など、現在の美術の広がりには目を見張るものがある。このことは、日本も中国も同じで、先進諸国にはすべて共通することであろう。古来より美術は、絵画・彫刻・デザイン・工芸という領域が存在し、それぞれの領域はそれぞれの中でその領域的独自性を確立するような方向で展開されてきた。現在ではいろいろな価値観が混沌とし、こうした考え方そのものが意味をなさないという見方も存在する。現代では新たな価値観が矢継ぎ早に展開され、我々は様々な新しい価値観や物の見方に真新しさを感じたり可能性を感じたりはするものの、美術の本源たる造形は、こうしたものの中に埋もれつつある状況である。

人体塑造という領域は、こうした美術の広がり観点から見れば、やはり古いタイプの芸術と評する人間も存在しようし、中には現代という時代において意味がないとする作家や美術教育者も存在したりするのが現状である。

しかし、この領域は造形の最も根源的な所に立脚した芸術であり、美術それ自体を遠心的に追求する場合には、確か

に古い部類に属するものではあるが、求心的に考える場合、やはりこの領域は、造形の中心的な位置づけがなされるものといえよう。美術科教育ということを考えた場合、遠心的な方向で美術を広がりて捉えていく方向が一つあるとするならば、逆に求心的に物事を見つめ、その本質を追及するという二元論的な視点が必要なことは言うまでもない。こうしたことを考えていくと人体塑造という領域は、教育で考えてみても、確固たる教育的価値のある領域と思われるのである。

しかしながら彫塑造形ならびに彫塑教育に関する文献というのは日中問わず非常に少ないのが現状であり、こうした領域の教育が余り振興していない状況というのはとても残念なことに思われる。

こうした背景と、この領域の教育の内容論的側面に興味を向いたのが、本研究の動機である。

## 研究の目的

本研究では、彫塑領域の授業というものについて考えていきたい意向であるが、この際、授業の構想に当たって、何らかの手がかりや、参考となる資料を求めたわけであるが、これらに関しては、日中の著名な文献や実践案、論文などに着目したい。

本研究では、中国の彫塑教育の起こりから現在までを俯瞰するとともに、彫塑教育関連の日本における新たな試みや、日本で筆者が学んだことなどを織り交ぜながら、中等教育後期美術課程(日本では高等学校に相当)における彫塑(人体塑造)の授業実践案を出してみたい。

## 本論文の構成

はじめに

### 第1章 中国における彫塑の教育について

#### 第1節 中国の彫塑教育の起こりと展開

第1項 1928年～1949年まで

第2項 1949年～1978年まで

第3項 1978年～現在

#### 第2節 中国の彫塑教育の現状

第1項 中央美術学院の彫塑関連の授業と内モンゴル大学芸術学院附属中学高等部での授業  
授業

第2項 考察

### 第2章 日本における彫塑教育について

#### 第1節 日本の彫塑教育の流れと現状

第1項 日本の彫塑教育の起こり

第2項 日本の彫塑教育の現状

#### 第2節 日本における彫塑教育の新たな試み

### 第3章 高等学校における彫塑領域の実践案について

第1節 附属中について

第2節 美術関連のカリキュラム

第3節 授業実践案について

おわりに

## 研究の流れ

研究の流れは目次に示す通りであるが、第1章では、中国における彫塑教育の具体的な形を見て行きたい。本章では、まず第1節で中国彫塑教育の起こりと現在に至る経緯を俯瞰し、第2節では、現代の中国の高等教育・中等教育における彫塑教育の現状に多大な影響をもたらした中央美術学院の授業と、その影響を見るために、そこから地理的に遠く離れた内モンゴル大学附属中学高等部(正式名称:内モンゴル大学芸術学院附属中学、高等部は日本の高等学校、中学部は日本の中学校に概ね相当する。)での授業を見て行きたい。

第2章では、日本の彫塑教育の具体的な姿を巨視的に見ていきたい。本章では日本の彫塑教育の流れと現状を述べ、特に石上氏著「塑造の指導方法についての考察I」を資料とし、彫塑教育の内容や歴史的変遷について述べ、第2節では、現代日本の彫塑教育の中でもとりわけ目新しい取り組みや効果的と思われる内容について調査を進めていくが、この際マスの構築という考え方に着目したい。

第3章では、筆者が在籍した内モンゴル大学芸術学院の附属中学高等部美術専門課程の3年生を対象とし、中国での彫塑教育に筆者が日本で学んだ彫塑教育の要素を盛り込んだ彫塑の関連の授業作りを行ってみたい。

主任指導教員 初田 隆

指導教員 前芝 武史